

たかおか

市議会 だより

No.81 11月臨時会・12月定例会号
令和8年（2026年）2月1日発行

議会の新しい構成	2P
議員紹介	3P
11月臨時会・12月定例会のあらまし	4P
議決結果一覧	5P
代表質問	6P
一般質問（一括質問・一括答弁）	8P
一般質問（一問一答）	11P
委員会の動き	12P

編集 ■ 広報広聴委員会

発行 ■ 高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

「朝焼けの牧野大橋」（たかおか市議会だより表紙写真 応募作品） 撮影：高岡 宏和



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



議会の新しい構成決まる

11月20日に改選後初の臨時会（組織議会）を開き、正副議長の選挙や、議会運営委員会・常任委員会の委員の選任などを行いました。



曾田議長

中村副議長

議長、抱負を語る

昨年11月臨時会において、第20代の高岡市議会議長を拝命いたしました。私自身、8年前に第12代の議長を務めさせていただいており、今回が2度目の議長職就任となります。前回の経験を生かし、高岡市議会が次代に向けた議論を行い、議会としての責務を果たせるよう、議会運営を進めてまいります。

また、令和6年能登半島地震の発災から2年が経過しました。震災復興はまだ道半ばです。困っている方々に寄り添い、少しでも早く元の生活に戻るよう、全

力を取り組んでまいります。

加えて、人口減少社会や少子高齢化への対応、課題となっている市役所庁舎をはじめとする公共施設の今後のあり方について、議会としてしっかりと議論を進められる環境を整えてまいりたいと考えております。

最後に、二元代表制の一翼を担う市議会が、市民の負託に応え、市民に信頼されるよう、議長として全力で邁進してまいりますことをお誓い申し上げます。

議長に曾田康司氏

副議長に中村清志氏

監査委員に金森一郎氏

略歴

曾田議長 議長、副議長、人口減少社会対策特別委員長、議会改革検討委員長など

中村副議長 総務文教、民生病院、産業建設の各常任委員長、広報広聴委員長など

員長、広報広聴委員長など

◎委員長
○副委員長

※委員長・副委員長以外は議席順

総務文教 常任委員会

◎田中 勝文
○熊木 義城
八田 一弥
植野 佳奈
新開 広恵
中村 清志
石須 大雄
藪中 一夫
金森 一郎

民生病院 常任委員会

◎梅島 清香
○高岡 宏和
山野 井拓也
高木 敬介
中川 加津代
上田 武
本田 利麻
水口 清志

産業建設 常任委員会

◎山上 尊士
○酒井 善広
水越 進一
塚本 彦彦
林 貴文
福井 直樹
筏井 哲治
曾田 康

議会運営 委員会

◎藪中 一夫
○筏井 哲治
植野 佳奈
塚本 政彦
山上 尊士
熊木 義城
田中 勝文
高岡 宏和
石須 大雄
本田 利麻

広報広聴 委員会

◎熊木 義城
○酒井 善広
山野 井拓也
植野 佳奈
山上 尊士
梅島 清香
田中 勝文
筏井 哲治
高岡 宏和
上田 武

議会改革 検討委員会

◎藪中 一夫
○高岡 宏和
高木 敬介
塚本 政彦
新開 広恵
梅島 清香
福井 直樹
筏井 哲治
酒井 善広
石須 大雄

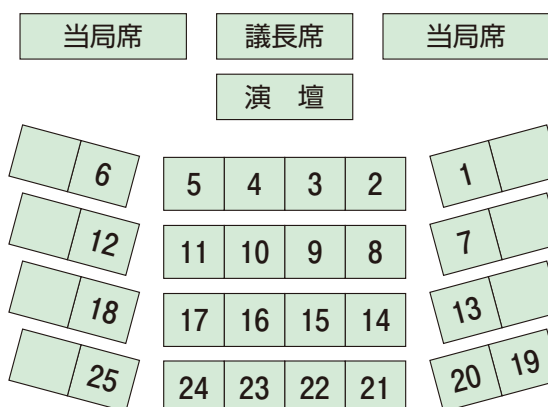
議員紹介

議席順

- 1 所属会派
- 2 住所
- 3 当選回数(合併後)

<p>5</p> <p>1 新・高岡愛 2 下関町 3 1回</p>  <p>植野 佳奈</p>	<p>4</p> <p>1 新・高岡愛 2 三女子 3 1回</p>  <p>高木 敬介</p>	<p>3</p> <p>1 新・高岡愛 2 駅南三丁目 3 1回</p>  <p>山野井 拓也</p>	<p>2</p> <p>1 自民党無派閥会 2 横田本町 3 1回</p>  <p>水越 進一</p>	<p>1</p> <p>1 高岡忍者会 2 荒屋敷 3 1回</p>  <p>八田 一弥</p>
<p>10</p> <p>1 新・高岡愛 2 伏木古国府 3 3回</p>  <p>林 貴文</p>	<p>9</p> <p>1 新・高岡愛 2 向野町四丁目 3 2回</p>  <p>熊木 義城</p>	<p>8</p> <p>1 公明党 2 泉が丘 3 2回</p>  <p>新開 広恵</p>	<p>7</p> <p>1 公明党 2 向野本町 3 2回</p>  <p>山上 尊士</p>	<p>6</p> <p>1 新・高岡愛 2 利屋町 3 1回</p>  <p>塚本 政彦</p>
<p>15</p> <p>1 同志会 2 下伏間江 3 3回</p>  <p>茂井 哲治</p>	<p>14</p> <p>1 新・高岡愛 2 西藤平蔵 3 4回</p>  <p>福井 直樹</p>	<p>13</p> <p>1 Kirari-きらりー 2 大野 3 4回</p>  <p>中川 加津代</p>	<p>12</p> <p>1 同志会 2 木津 3 2回</p>  <p>田中 勝文</p>	<p>11</p> <p>1 同志会 2 戸出市野瀬 3 2回</p>  <p>梅島 清香</p>
<p>20</p> <p>1 立憲民主・社民議員団 2 角 3 6回</p>  <p>上田 武</p>	<p>19</p> <p>1 立憲民主・社民議員団 2 伏木中央町 3 6回</p>  <p>石須 大雄</p>	<p>18</p> <p>1 同志会 2 下麻生 3 3回</p>  <p>酒井 善広</p>	<p>17</p> <p>1 同志会 2 中曽根 3 3回</p>  <p>高岡 宏和</p>	<p>16</p> <p>1 同志会 2 福岡町大滝 3 3回</p>  <p>中村 清志</p>
<p>25</p> <p>1 同志会 2 横田町二丁目 3 6回</p>  <p>水口 清志</p>	<p>24</p> <p>1 同志会 2 城東二丁目 3 6回</p>  <p>曾田 康司</p>	<p>23</p> <p>1 同志会 2 醒醐 3 4回</p>  <p>金森 一郎</p>	<p>22</p> <p>1 同志会 2 荻布 3 4回</p>  <p>本田 利麻</p>	<p>21</p> <p>1 同志会 2 荻布 3 4回</p>  <p>藪中 一夫</p>

議場見取図



補正予算・条例など

40議案を可決・同意

代表・一般質問に18人が登壇

11月20日に臨時会を開き、正副議長の選挙などを行いました。
市長から人事案件1議案が提出され、同意しました。

12月定例会は2日に開会し、23日に閉会しました。市長から令和7年度一般会計補正予算をはじめ38議案が、議員から1議案が提出され、全ての議案を可決しました。

今定例会では、代表質問に2会派、一般質問に16人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した 主な議案等

11月臨時会

人事

監査委員

金森 一郎 議員（新任）

選挙

庄川水害予防組合議会議員

補欠選挙

八田 一弥 議員
水越 進一 議員
高木 敬介 議員
梅島 清香 議員
福井 直樹 議員

小矢部川中流水害予防組合 議会議員選挙

山野井 拓也 議員
林 貴文 議員
上田 武 議員

高岡地区広域圏事務組合議 会議員選挙

山上 尊士 議員
熊木 義城 議員
梅島 清香 議員
上田 武 議員
本田 利麻 議員
金森 一郎 議員
水口 清志 議員

砺波地方衛生施設組合議会 議員選挙

新開 広恵 議員
梅島 清香 議員
福井 直樹 議員
水口 清志 議員

富山県後期高齢者医療広域 連合議会議員選挙

梅島 清香 議員
高岡 宏和 議員
竹内 延和 氏

12月定例会

条例

教育総合支援センター条例 （新規）

多様化する教育課題に対応しながら、子どもたちの健やかな成長と自立を支えるため、教育総合支援センターを設置するもの。

（位置）

本町12番1号

（主な事業）

- (1) 不登校等教育支援
- (2) 就学相談等特別支援
- (3) 外国人児童生徒支援
- (4) 教職員の研修、教育の研究調査等

（施行期日）

令和8年4月1日

公民館条例の一部改正

市立牧野公民館及び市立東五位公民館をそれぞれの分館と集約し、現在の分館の施設を引き続き利用するもの。

（施行期日）

令和8年4月1日

体育施設条例の一部改正

旧石堤小学校体育館を広く

市民の利用に供するため、体育施設として石堤体育館を設置するもの。

（利用時間）

午前9時～午後9時30分

（休業日）

12月29日（翌年1月3日）

（利用料金）

1時間につき300円

（施行期日）

令和8年4月1日

その他

工事請負契約の締結

都市計画道路下伏間江福田線の京田地下道二期工事における本体工事を行うもの。

契約金額 2億3210万円

工事請負契約の締結

伏木中学校区小中一貫校の開校に向けて、校舎の増築及び改修工事を行うもの。

(1) 校舎増築及び改修工事
契約金額 19億2830万円

(2) 校舎増築及び改修電気設備工事
契約金額 3億8193万円

(3) 校舎増築及び改修機械設備工事
契約金額 5億6004万円

選挙

庄川水害予防組合議会議員

補欠選挙

田子 実氏

意見書

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣、内閣官房長官に提出しました。

自治体病院への支援を求める意見書

自治体病院は、民間では対応が困難な救急・災害・精神などの不採算医療に取り組み、地域医療の中核として重要な役割を担っている。しかし、近年の人員費や物価の高騰で運営費用が膨らむ一方、現行の診療報酬はこうした実情に対応できておらず、その大多数が赤字経営となっており、この問題を地方自治体が単独で改善することは極めて困難である。また、医師の地域偏在や診療科偏在化、働き方改革により、地方の自治体病院での医師不足が深刻化している。この状況が続けば、経営破綻や診療規模縮小等による地域医療の崩壊が現実となかなかない。よって、次の事項の実施を強く要望する。

1 令和8年度の診療報酬改定において、地域医療の医療提供体制を将来にわたって維持・確保できる診療報酬の大幅な引き上げ、特に病院経営の収益の根幹となる入院基本料の確実な引き

議決結果一覧表（令和7年12月定例会）

【議 案】

番 号	件 名	結 果
第107号	令和7年度一般会計補正予算（第4号） 53億2,798万円 《補正予算の主な内容》 ・公費解体事業 10億9,344万円 ・学校空調設備等整備事業 1億4,295万円 ・農地災害復旧事業（大雨・震災） 1億 250万円 ・林道災害復旧事業（大雨） 2,710万円 ・学校再編等推進事業 2,261万円 ・庁舎のあり方検討事業 1,100万円 ・市債の繰上償還 9億7,113万円 ・市債の借り換え 14億5,191万円 など	可 決
第108号	令和7年度国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	
第109号	令和7年度駐車場事業会計補正予算（第2号）	
第110号	令和7年度介護保険事業会計補正予算（第2号）	
第111号	令和7年度後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	
第112号	令和7年度高岡市民病院事業会計補正予算（第3号）	
第113号	令和7年度水道事業会計補正予算（第1号）	
第114号	令和7年度工業用水道事業会計補正予算（第1号）	
第115号	令和7年度下水道事業会計補正予算（第3号）	
第116号	市職員の給与に関する条例等の一部改正 「市職員の給与に関する条例の一部改正」 「市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」 「市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正」	
第117号	家庭的保育事業等又は乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第118号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第119号	防災行政無線施設条例の一部改正	
第120号	市立学校設置条例の一部改正	
第121号	教育総合支援センター条例 附則「教育センター条例の廃止」	
第122号	公民館条例の一部改正	
第123号	体育施設条例の一部改正	
第124号	火災予防条例の一部改正	
第125号	工事請負契約の締結 （下伏間江福田線立体交差整備二期その5工事）	
第126号	工事請負契約の締結 （伏木中学校区小中一貫校校舎増築及び改修工事）	
第127号	工事請負契約の締結 （伏木中学校区小中一貫校校舎増築及び改修電気設備工事）	
第128号	工事請負契約の締結 （伏木中学校区小中一貫校校舎増築及び改修機械設備工事）	
第129号	指定管理者の指定（急患医療センター）	
第130号	指定管理者の指定（伏木コミュニティセンター）	
第131号	指定管理者の指定（戸出コミュニティセンター）	
第132号	指定管理者の指定（中田コミュニティセンター）	
第133号	指定管理者の指定（スポーツ健康センター）	
第134号	射水市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議	
第135号	氷見市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議	
第136号	砺波市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議	
第137号	小矢部市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議	
第138号	南砺市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議	
第139号	市道路線の認定及び廃止	
第140号	字の区域の変更	
第141号	令和7年度一般会計補正予算（第5号） 13億4,402万円 《補正予算の主な内容》 ・物価高対応子育て応援手当支給事業 4億4,923万円 ・物価高対策・地域経済活性化事業 1億6,506万円 など	
第142号	令和7年度高岡市民病院事業会計補正予算（第4号）	
第143号	令和7年度水道事業会計補正予算（第2号）	
第144号	令和7年度下水道事業会計補正予算（第4号）	

【議員提出議案】

番 号	件 名	結 果
第6号	自治体病院への支援を求める意見書	可 決

いずれも、全会一致で可決、同意されました。

- 2 当面の経営上の危機を回避するためにも、令和8年度の診療報酬改定を待つことなく、これらの費用増に対応できる実効性ある緊急的財政支援を実施すること。
- 3 診療報酬体制について、今後も予想される物価・賃金の上昇に迅速かつ適切に対応できる仕組みを導入すること。
- 4 地域の医療体制を確保するための安定的・継続的な医師確保対策を図ること。

議会日誌

9月定例会後～12月定例会前

10月 6日	港湾・交通・観光対策特別委員会
9日	広報広聴委員会
26日	市議会議員選挙投票日
27日	議員説明会 新人議員説明会
11月 7日	世話人会準備会
12日	世話人会
20日	議員協議会 本会議（正副議長選挙等） 議会運営委員会 民生病院常任委員会 産業建設常任委員会 総務文教常任委員会 広報広聴委員会 議会改革検討委員会
21日	代表者会議
25日	議会運営委員会
27日	正副常任委員長会議

12月定例会

12月 2日	議員協議会 本会議（提案理由説明） 議案説明会
5日	本会議（代表質問）
10日	本会議（一般質問（一括））
11日	本会議（一般質問（一括））
15日	議会運営委員会
16日	本会議（一般質問（一問一答））
18日	代表者会議 民生病院常任委員会 産業建設常任委員会
19日	議会運営委員会 総務文教常任委員会
23日	代表者会議 委員長会議 議会運営委員会 議員協議会 本会議（議案など議決） 民生病院常任委員会 産業建設常任委員会 総務文教常任委員会

議決結果一覧表（令和7年11月臨時会）

【議 案】

番 号	件 名	結 果
第106号	監査委員の選任について同意を求める件	同 意

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



同志会
後井 哲治

後井議員の
質問の様子はこちら



議会との向き合い方

問 新たに組織された議会とどのように向き合い、高岡をチェンジしていくのか。

市長 議会は、市民から負託を受け、市民を代表する方々が集まる場であり、その声や思いに耳を傾けることは大変重要である。高岡のチェンジを実現するためには、議会と行政が車の両輪として、市民の利益を最優先とする協力関係を築くことが不可欠である。議会との対話を通して、それぞれの施策を市民が最も望む形として造りあげていくことが、市長と議会の望ましい関係と考えている。このため、日頃から意見交換をしながら、議会の質問や提案に真摯に向き合い、「住みたいまち 高岡」

の実現に向け、市政運営に取り組んでいきたい。

復興と被災地の未来に向けて

問 令和6年能登半島地震からの復興の第一義的な到達点（マイルストーン）について、どのように考えているのか。

都市創造部長 現在、市震災復興計画に基づき、復旧工事を着実に進めている一方で、被災地の人口減少や空き地の増加など、取り組むべき課題が数多くある。こうした状況を踏まえ、今後復興に向けたまちづくりを進めていくにあたっては、被災された方々の思いをはじめ、人口減少社会の進展などの構造的な課題にも向き合い、専門家からの助言も得ながら持続可能なまちの姿を新たに示していく必要があると考えている。復興の到達点については、これから市復興会議において新たな復興計画の目標を定めていく段階である。今後の検討の中で、様々な課題と向き合いながら、10年、20年先を見据えた、未来に希望を持てるまちになる

よう計画を練り上げていきたい。

新高岡駅周辺の都市計画

問 新高岡駅周辺地区における市街化調整区域の見直しに向けた検討状況と、具体的なスケジュールは。

都市創造部長 市街化調整区域は、無秩序な開発を抑制する区域であり、富山高岡広域都市計画区域として県が定めている。県では、社会経済状況の変化など、必要に応じて定期的に見直しを検討しており、本市では、令和5年2月に変更希望箇所を県に提出した。この変更希望箇所は、土地利用の方針との整合性、開発計画の確実性、市街地内の現在の土地利用の状況など、様々な視点から検討を行ったうえで提出したものである。現在、県が国と市街化区域への編入可否について確認作業を進めているところであり、今後のスケジュールは未定と聞いている。

高岡市地方卸売市場の活用

問 機能維持に並行して、にぎわいの場として有効活用している。

産業振興部長 高岡市地方卸売市場は、昭和40年に開設し、県西部全域の生鮮食料品、農産物等の中心的な流通拠点として、食の安定供給を通じて市民生活の向上に大きく寄与してきた。市場内には、卸、仲卸、買受人など、様々な市場事業者があり、市場の利活用にあたっては、これらの方々の意向を尊重していくことが重要と考えている。市としては、今後とも市場の機



高岡市地方卸売市場

能・役割が十分に発揮できるよう努めるとともに、取引業務に支障が出るのではないよう、市場事業者の声を聞きながら、有効活用について検討していきたい。

地域運営のあり方

問 人口減少社会にあるなか、地域に依頼してきた業務を見直す必要があると考えるが、見解は。

生活環境文化部長 市からの依頼業務が負担となっているという自治会からの声を受け、これまでも市民と市政の配布時期に合わせた広報物の集約化など、地域の負担軽減に努めてきた。また、職員が地域の実情を理解し、意識改革を図ることを目的に、令和6年度から多機能地域自治に関する研修を実施している。地域運営の現状を鑑み、地域に依頼している業務の軽減を図ることが必要と感じている。一方で、依頼業務の中には国や県の法令等で定められたものもあり、本市が独自で見直すことが困難なものも多くある。加えて、同じ内容であっても、地域によって必要性や負担感が異なる場合があるのではないかと考えている。今後、依頼業務について庁内で調査す

るとともに、地域の方々との対話を重ね、負担の軽減に向けた取組を丁寧に進めていきたい。



新・高岡愛
林 貴文

林議員の
質問の様子はこちら



震災からの復興に向けて

問 第1回市復興会議の手ごたえは。また、会議での議論の内容と、今後の展開は。

市長 令和7年11月18日に開催した市復興会議では、様々な立場の委員から幅広い視点での意見があり、計画の検討にあたり整理すべき点が明らかになるなど、今後の計画づくりに向け、確かな手ごたえを感じている。主な議論としては、将来の人口や年齢構成も踏まえ、目指すべき復興の形を考えることが不可欠という意見や、被災地に希望のあかりをともしイルミネーションの実施等が提案された。今後の展開としては、市復興会議での意見に加え、市民との対話集会やまちづくり懇談会



復興へのともし火 玉川中央公園イルミネーション事業

での意見などを踏まえて議論していく。また、復興に向けたアイデアを視覚化し、それを元に行き可能な案を作りたい。その上で、計画の目標を定め、現状の課題や取り組むべき施策を整理しながら、新たな復興計画の策定を着実に進める。

総合計画の策定

問 新たな基本構想及び第5次基本計画についてどのような点を重視して策定していくのか。

市長 新たな総合計画は、先人が築いた高岡のまちの成り立ちに焦点を当て、未来を目

指す計画としたい。歴史・文化、商工業、自然環境が重層的に織りなされ成立する高岡らしさや、市民の誇りを再認識・再定義し、策定に全力を注ぎたい。この先10年の未来を描く基本構想については、3つの重点を置きたいと考えている。1つには、市民の郷土愛やシビックプライドを高めること。2つには、長期的な視点でどのようなまちにしたいかを示すこと。3つには、多くの市民から共感を得られる内容とすることである。第5次基本計画には、基本構想に掲げる「住みたいまち 高岡」の実現に向け、様々な課題に対応するための具体的な施策を示していきたい。

高岡市民病院のあり方

問 高岡市民病院の将来像について、国・県の動向も踏まえ、検討すべきと考えるが、見解は。

副市長 令和7年度に国では2040年頃を見据えた新たな地域医療構想策定のガイドラインを示す予定であり、これを受け、県では地域医療構想の策定に向けて、関係機関も参加する協議を8年度から始めると聞いている。その協議の中では、地域医療体制全

体の方向性、将来の必要病床数、医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化について議論されることが見込まれる。高岡市民病院の将来像の検討にあたっては、地域医療圏の医療提供体制において果たすべき役割に加え、国・県の動向、地域医療構想の検討内容やその進捗についても十分に留意する必要があると考えている。

公共交通の現状と課題

問 交通事業者との勉強会を踏まえて見えた現状と課題は。

市長 交通事業者との勉強会では、交通事業者から、運転手の不足などにより、今後の交通サービスの維持が厳しくなっていることや、貸切バスやタクシーの需要に対応しきれっていない現状を聞いた。また、使いやすさを高める取組だけでなく、利用したくなる仕掛けづくりも進めていくべきとの意見もあった。運転手などの担い手不足が今後も続き、交通サービスが縮小した場合、市民の移動が困難になる。その結果、公共交通の利用がますます減少する悪循環から抜け出せなくなることが課題である。交通事業者が競争するのではなく、協力する

仕組みづくりに積極的に関与し、公共交通を利用してまちに出たくなる仕掛けづくりについて、組織を横断して取り組んでいきたい。

教育の充実

問 本市の教育の更なる充実に向け、今後重点的に推進していく取組は。

教育長 本市では、小中一貫教育を核として、ものづくり・デザイン科や論理コミュニケーション・プロジェクトの授業といった高岡ならではの教育活動を通して、学校教育の充実に取り組んでいる。デジタル技術の発展など、変化が止まることのない時代を生きる子どもたちには、自ら課題を見つけ、多様な他者と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越える資質・能力の育成が大切である。今後は、教科等における基礎的な学習を基盤としながら、それらを活用する教育活動となるよう探究的な学習に重点を置きたい。ICT環境を生かし、日常生活や学習の中から課題を見つけ、情報を集め整理・分析し、課題を解決し、発表・表現することといった学習活動を推進すること、教育の更なる充実を図りたい。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、13人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



高木 敬介
新・高岡愛

高木議員の
質問の様子はこちら



高岡市民病院の経営

高岡市民病院の経営について問う。

(1)施設改良費における今後の整備予定と方針は。

(2)医師、看護師確保対策の取組状況は。

市民病院事務局長

(1)付帯設備の計画的な更新・修繕が喫緊の課題であり、中長期的な計画に基づき、中央監視装置の更新等を行ってきた。今後も空調設備や昇降機等で大規模な更新が必要と考えており、計画に基づきながら、経営状況も踏まえつつ更新していく。(2)医師については、大学への派遣要請をはじめ、県ドクターバンク等への登録、ホームページでの募集などを行ってきた。令和7年度には、新たに民間の医師紹介サービスも



山野井 拓也
新・高岡愛

山野井議員の
質問の様子はこちら



子育て政策の充実

第二子の保育料無償化や第一子の保育料軽減の所得制限の緩和を進めるべきと考えるが、見解は。

市長 これまで本市独自に保育料の軽減を実施してきたが、更なる軽減の拡大については、国・県と連携しながら取り組みたいと考えている。県に第二子の保育料無償化を引き続き働きかけるとともに、国の動向を注視したい。

街頭への防犯カメラ設置

市が主体となって街頭に

活用している。看護師については、日頃から看護学生の実習を積極的に受け入れるほか、求人イベントへの参加などを行っており、募集人数は充足している。

防犯カメラの設置を進めるべきと考えるが、見解は。

生活環境文化部長 街頭への防犯カメラの設置については、自治会等の団体による設置であれば、地域の実情に応じた設置が可能であることから、補助制度による自治会等の取組への支援を優先したい。



塚本 政彦
新・高岡愛

塚本議員の
質問の様子はこちら



中心市街地の活性化

ウォークアブルなまちづくりについて、本市の考えは。

都市創造部長 まちの活性化を進めていくためには、官民が連携して、滞在しやすい環境を整えていくことが有効と考えている。経済会と一緒に勉強会を開催するなどして、ウォークアブルなまちづくりに向けた仕掛けづくりを検討したい。

探究的な学びの推進

子どもたちが本市の抱える様々な課題を知り、これからのまちづくりについて考える学習に取り組んでは。

教育長 本市では、生活科や社会科、総合的な学習の時間、ものづくり・デザイン科などを通して、ふるさと高岡のすばらしさについて学びを深める学習を行っている。今後、探究的な学びを進める中で、学びや日頃の生活から課題を見出し、解決に向けて主体的に取り組もうとする児童生徒の育成に努めたい。



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら



リチウムイオン電池の廃棄

全国的に事故が多発している状況を踏まえ、廃棄方法の周知の強化も含めた今後の取組は。

生活環境文化部長 国の指針改定を受け、リチウムイオン電池の分別・収集方法や適切な処分など、安全な処理体制について検討している。当面

は市ホームページでのごみの出し方検索やAIチャットボットを利用した検索システムの周知、市民と市政等を通じた広報活動を実施し、事故が起きないように努めたい。

児童虐待の相談体制の構築

気軽に相談できる体制を構築するため、「親子のための相談LINE」の活用を呼び掛けている。

福祉保健部長 本市では、学校等へのポスター配布や保育園児等の保護者へのリーフレット配布を通じて周知を行っている。更なる活用促進に向け、ホームページや広報紙等で広く情報発信していきたい。



親子のための相談LINE





梅島 清香
同志会

梅島議員の
質問の様子はこちら



持続可能な地域交通

問 市民協働型地域交通システムの現状は。また、持続可能なものとなるようどのような取り組みなのか。

市長政策部長 現在、市内5地区で導入されており、地区の移動の足として着実に定着してきている。また、令和7年12月から、戸出地区で地域バスの無償実験が開始されたところである。市としては、技術的な支援も行いながら、



戸出地区での地域バスの無償実験

地区の取組が持続可能なものとなるようサポートしていく。

竹平記念体育館サブアリーナ

問 基本設計に着手しているサブアリーナの進捗状況と今後のスケジュールは。

教育長 現在、規模や配置、仕様の検討を進めており、今後は概算費用等も試算していく。サブアリーナの建設は、将来的な新総合体育館の建設を見据え、様々な角度から検討している。施設整備の方向性や今後の進め方については、基本設計の内容も踏まえながら、更なる検討を重ねていく。



上田 武
立憲民主・
社民議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



平和行政

問 「平和都市宣言」自治体などと連携し、非核三原則の堅持を国に求めている。

教育長 本市では、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を希求し、平成18年に平和都市宣言が議決された。非核三原則は将来にわたり堅持されるべき原則と認識しており、

引き続き、全国の「平和都市宣言」自治体と共に、恒久平和の実現に寄与していきたい。

万葉線と自動車の接触事故

問 江尻北交差点等において接触事故対策が必要では。

市長政策部長 ドライバーへの交通安全啓発活動を実施するほか、路面標示の設置などによる視覚的な対策を講じることも有効と考えている。万葉線株式会社と共に、関係機関に効果的な対策などについて相談したい。



水越 進一
自民党無派閥会

水越議員の
質問の様子はこちら



子育てしやすい環境

問 民間放課後児童クラブ利用者支援事業の利用状況と、事業継続についての見解は。

福祉保健部長 令和7年10月1日時点で、本事業を活用して民設の放課後児童クラブを利用している児童は、小学校1、2年生の9名である。8年度に向けて事業内容の見直しを検討し、放課後の子どもが安心して過ごせる居場所を確

保できるよう、事業を実施していきたいと考えている。

移住・定住対策

問 本市の移住窓口への相談から移住につながった直近3年の実績と現状は。

市長政策部長 直近3年で合計871件の相談があり、うち376人が本市に移住している。令和7年度は、11月末時点で、相談が411件と直近3年と比べて多くなっている。移住者は36人だが、今後増えることが見込まれる。



新開 広恵
公明党

新開議員の
質問の様子はこちら



道の駅の防災機能強化

問 万葉の里高岡が防災道の駅に選定されたことにより今後の機能強化の取組は。

都市創造部長 万葉の里高岡は災害時の受援活動に必要な機能を有する広域的な防災拠点である。今回の選定により、新たに救援活動や復旧活動における拠点としての役割が期待されている。今後、現有機能の強化や新たな機能の導入

について、国・県と連携、協力しながら検討していきたい。

ひとり親家庭への支援

問 ひとり親家庭が利用できる支援制度について、相談支援の強化が必要と考えるが、見解は。

福祉保健部長 本市では、母子・父子自立支援員を配置し、相談や情報提供、就職支援などを行っている。また、複合化・複雑化した課題を抱える家庭等については、関係機関と連携しながら支援している。



植野 佳奈
新・高岡愛

植野議員の
質問の様子はこちら



女性活躍に向けて

問 更なる女性活躍のための課題をどう捉え、どうチェンジしていくのか。

市長 社会全体の固定的な性別役割分担意識の根強さ等が、女性活躍の阻害要因の一つとなっていたが、全国的には、高い女性の管理職比率や女性雇用比率により成長している企業も数多くある。性別に関わらず、全ての方が希望する

場面でいきいきと活躍できる社会の実現が重要であり、先進事例の調査研究を進めたい。

移住者に優しいまちづくり

問 都市銀行のATMがないことは、大都市圏からの移住検討者の心理的障壁となるため、移住者ニーズの把握に努めては。

市長政策部長 官民が連携して取り組む課題の一つとして認識している。少しでも移住の障壁解消ができるよう、相談体制の充実に努め、移住者へのフォローアップ調査等によるニーズの把握に取り組む。



田中 勝文
同 志 会

田中議員の
質問の様子はこちら



犯罪被害者等支援条例

問 犯罪被害に直面する市民の不安に確実に対応するため条例を制定すべきでは。

生活環境文化部長 犯罪被害者等支援を目的とした条例が、全都道府県で制定されている。市町村でも制定する自治体が増えており、県や他市を参考に条例の制定を検討したい。

女性の健康管理アプリ

問 令和8年3月末にアプリ「ルナルナ」のプレミアムコースの無償提供が終了予定だが、継続しては。

福祉保健部長 連携協定事業者側からアプリの無償提供の提案を受け、女性の健康管理支援の強化につなげるため、本取組を実施してきた。公費を投入して無償提供を継続することは考えていないが、市の財政負担が発生しない場合には継続したい。また、連携協定事業者には、引き続き女性の健康管理に対する指導や助言をいただきたいと考えている。



酒井 善広
同 志 会

酒井議員の
質問の様子はこちら



空き家対策

問 老朽・危険空き家の早期是正には、単位自治会からの地域の空き家情報が有効と考えるが、見解は。

都市創造部長 地域の方が本市に相談する際、所有者等に関する情報を併せて提供いた

だくことで、所有者等への助言・指導が迅速になると考える。市と自治会の2方面から所有者等にアプローチする等の連携ができるよう努めたい。

まちかどトーク

問 まちかどトークで得られた市民の声をどのように今後の市政運営に生かし、高岡をチェンジしていくのか。

市長 まちかどトークでは、地域の特色を捉え話し合っており、地域コミュニティの維持について、地域の方々が考えるきっかけになればと思っている。今後は、参加者からいただいた様々な意見を踏まえ、課題解決に向けた施策や市政運営に取り組んでいきたい。



まちかどトーク開催の様子(写真は二塚地区)



八田 一弥
高岡忍国会

八田議員の
質問の様子はこちら



大規模災害への備え

問 令和6年能登半島地震での対応等も踏まえ、災害対策本部の設置基準を見直ししては。

総務部長 令和6年能登半島地震では、本市でも震度5強の地震が発生し、日常生活に甚大な被害が生じた。このため、市民の安全と安心を最優先に考え、災害対策本部の設置基準を見直し、災害発生時の初動対応を強化したい。

クマ被害対策

問 緊急銃猟は、誰が判断しどのように実施するのか。

産業振興部長 本制度では、各市町村の実情に即した対応マニュアルの作成が推奨されており、本市でも独自の対応フロー等を盛り込んだマニュアルを作成した。本マニュアルを活用し、法令で定める条件を満たすことができるか現場で確認、協議した上で、市長が最終的な実施の判断を行う。



石須 大雄
立憲民主・
社民議員団

石須議員の
質問の様子はこちら



震災からの復興

問 令和6年能登半島地震からの復興について問う。

(1)市復興会議への意気込みは。
(2)伏木地区の復興について、大規模な空き地の活用を図るため、境界の明確化が必要と考えるが、見解は。

市長 (1)震災からの復興に向けては、震災前の姿に戻すだけでなく、人口減少社会の進展などの課題に向き合いながら、持続可能なまちをつくりあげていく必要があると考える。8年度中の新たな復興計画の策定に向けて、市復興会議で議論を深め、震災からの復興に全力で取り組んでいく。
都市創造部長 (2)境界の明確化により、土地の活用等が進みやすくなると考えている。一方、伏木地区は公図混乱の著しい地域であり、処理は容易ではないと想定されるため、開発行為の都度、段階的に取り組むなど、効果的な手法を検討していきたい。

一般質問 (一問一答)

今定例会では、3人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



熊木 義城
新・高岡愛

熊木議員の
質問の様子はこちら



探究的な学び

問 現在のカリキュラムにどのように盛り込んでいくのか。また、実施に向けたスケジュールは。

教育長 探究的な学びには、年間を通して一定の時間を確保する必要がある。学習の積み重ねや発達段階などを考慮すると、小学校では高学年、中学校では3年生での実施が適切と考える。各教科と総合的な学習の時間の一部を活用し、必要な時間を確保したい。また、導入にあたっては、例えば研究推進校を中学校単位で指定し、その成果を他の学校が共有することで、全体に広めていきたい。学習指導要領の改訂に先駆ける形で令和8年度から取り組んでいきたい。

教育総合支援センター

問 スタッフの配置や、運営体制の詳細は。

教育長 令和8年4月に開設するセンターでは、不登校児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒、外国人児童生徒への支援、保護者の相談対応など、総合的な支援の提供を目指している。このため、それぞれの領域において豊富な経験や高い専門性を持った相談員、支援員等を配置したい。加えて、関係団体や専門機関が参加する運営協議会を設置し、運営について絶えず改善を図りながら、支援の充実に努めていく。



高岡 宏和
同志会

高岡議員の
質問の様子はこちら



庁舎のあり方

問 庁舎のあり方について、これまでの議論は工法や整備



市政運営の拠点となる市役所本庁舎

費に関するものがほとんどであり、市民が庁舎に求める役割やサービスといった、市民目線の議論がなされていないと考えるが、庁舎に求められる役割と機能についての考えは。

市長 様々な考え方があると思うが、庁舎は市民と行政を結び付け、地域社会を維持・活性化させるための重要なインフラと考えている。税や福祉などの様々な窓口機能や、多様な行政サービスを提供す

る役割のほか、議会機能も有するなど、市政運営の大事な拠点と考えている。

隣接市と連携した防災対策

問 広域避難を円滑に進めるため、市長がリーダーシップをとり、射水市をはじめとする隣接市と協議を行っていくべきと考えるが、見解は。

市長 とやま呉西圏域においては、これまでも、市域を超えた避難者を受け入れることとしている。隣接市の避難施設の鍵の管理について、施設管理者や地域住民との合意形成が必要と考えており、今後、とやま呉西圏域の枠組みを活用した協議を加速するなど、共に主導してきた射水市とも連携して、私自身が率先して円滑な広域避難体制の構築を進めていきたい。



中川 加津代
Kirari-きらり-

中川議員の
質問の様子はこちら



高齢化社会を見据えて

問 電動シニアカーの普及など高齢化社会を見据えた歩道整備の考え方は。

都市創造部長 電動シニアカーに限らず、車いすや杖の使用など、誰もが安全で使いやすい道路を整備することは大切である。本市では、国の基準等のほか、福祉のまちづくり条例に基づき、歩道の段差や傾斜を解消し、交通の補助器具のすれ違い幅を確保するように努めている。沿道の立地状況などの制約で、全ての歩道に適用することは難しい面もあるが、高齢化社会を見据え、暮らしやすい道路環境となるよう努力する。

復興計画

問 未来に希望がもてる復興計画に福祉都市をイメージしている。

市長 市復興会議には、福祉関係の専門家もいることから、その意見や福祉のまちづくり条例の理念も踏まえて、福祉の視点を新たな復興計画に取り入れていきたい。今後のまちづくりを進める上で、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることは重要な視点であり、あたたかみある福祉が充実する「やさしい高岡」の実現を目指していく。



委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 学校空調設備等整備事業費について、国の交付金を利用した場合の補助単価と今回の伏木中学校への空調設備整備の費用に乖離がある理由は。
答 空調設備の積算は、設計を委託し、市で国の基準に基づき精査した。高額となる理由としては、災害時に停電となった場合でも運転可能な自立型の機器を採用したことが考えられる。国では補助単価

の見直しの動きもあり、今回の積算価格に近づくと思込める。

○民生病院常任委員会

問 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー事業費について、今後の取組は。
答 ギャラリーは令和7年12月1日に10周年を迎え、現在、記念原画展を開催している。これに合わせ高岡駅前で大型のバナーを掲出するなど、ギャラリーの認知度を高める取組を行っている。今後とも、より多くの方に訪れていただくようPRしていきたい。

○産業建設常任委員会

問 高岡古城公園維持管理事業費について、現在の寄附額の状況は。

答 高岡古城公園景観再生プロジェクト2025では、令和7年12月18日時点で、個人企業、団体から約210件、962万6500円の寄附金をいただいている。補正予算として計上した1000万円の寄附額は確保できると期待している。



樹木の伐採が進む高岡古城公園

用語解説コーナー



防災道の駅

※9ページ掲載

都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅から国が選定するもので、万葉の里高岡は県内初の選定となる。主な役割として、自衛隊や警察等の救援活動の拠点となることや、緊急物資等の基地機能等を持つことなどが期待される。

緊急銃猟

※10ページ掲載

人の日常生活圏にクマやイノシシが出没した場合、法令で定める条件を満たしたときに、市町村長の判断により銃器を使用した捕獲等ができる制度。

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、2月19日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

2日(木)	11時	議員協議会
	13時	本会議（提案理由説明）
3日(木)	13時	本会議（追加提案理由説明）
5日(木)	10時	本会議（代表質問）
9日(木)	10時	本会議（一般質問（一括））
10日(木)	10時	本会議（一般質問（一括））
11日(木)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議（一般質問（一括）予備日）
16日(木)	10時	本会議（一般質問（一問一答））
17日(木)	10時	民生病院常任委員会
18日(木)	9時	代表者会議
	10時	産業建設常任委員会
19日(木)	9時	議会運営委員会
	10時	総務文教常任委員会
24日(木)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（議案など議決）

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局（☎20-1531）までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名（うち車椅子利用者は5名）まで、委員会は7名まで傍聴できます。

9月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和7年 10月	—	0人
11月	4人	0人
12月	186人	5人

編集後記

観測史上もつとも暑い夏となった昨年の夏。一転、寒い日々が続いております。

ここ数年、毎年のように災害による被害が発生しています。災害は起きないのが一番良いですが、いつ起きても対処できるよう、普段からきちんと備える必要があります。

12月定例会では、令和6年能登半島地震や昨年8月の大雨による被害からの復旧に向けた予算を可決しました。被災地の復旧・復興が一日でも早く進むよう願っております。

また、昨今の物価高への対応として、国の補正予算を活用し、水道基本料金の2か月減免や、プレミアム商品券の発行等が進められることとなりました。これらの取組により、市民の皆様の生活が少しでも楽になることを期待しております。

今年も引き続き、市政発展のため議員全員で取り組んでまいります。（山野井記）

★編集委員

◎熊木 ○酒井

山野井、植野、山上、梅島、田中、筏井、高岡、上田

（◎委員長 ○副委員長）